

様式第 1（第 15 条関係）

会 議 録

会議の名称	令和 7 年度第 1 回和泉市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和 8 年 3 月 4 日（水）午前 10 時から午前 11 時まで	
開催場所	市役所 3 階 庁議室	
出席者	委 員	池内、金谷、門林、野口、鈴木、竹内、淡路屋（順不同、敬称略）
	和泉市	事務局：前田室長、富岡課長、北野総括主幹、藤原総括主査、大嶋主事
会議の議題	・ 議題 （1）スポーツ団体に交付する補助金について ・ 報告 （1）和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画に基づく推進状況について （2）（仮称）和泉市北部総合スポーツ公園基本構想について （3）和泉市温水プール事業の廃止について	
会議の要旨	・ スポーツ団体に交付する補助金について意見を伺う。 ・ 和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画の推進状況について報告し、意見を伺う。 ・ （仮称）和泉市北部総合スポーツ公園基本構想（概要版）の内容について報告し、意見を伺う。 ・ 和泉市温水プール事業の廃止について報告し、意見を伺う。	
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録	
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）	
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：可（傍聴人：0 名） ・ 議事録の公表：有	

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

次第 1, 2, 3, 4 につき、事務局から、委員及び職員紹介・生涯学習推進室長挨拶及び会長挨拶を進行。

5. 議題

（1）スポーツ団体に交付する補助金について

事務局から、スポーツ団体に交付する補助金について説明。

異議なく承認された。

6. 報告

1 和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画に基づく推進状況について

（1）「1. 誰もがスポーツができる環境の整備【くわわる】」

事務局から、資料 P 4 「1. 誰もがスポーツができる環境の整備【くわわる】」の内容について報告を行った。

立石委員）（欠席からの事前意見）空調の整備については、市民体育館及びコミュニティ体育館の双方を対象として、整備のあり方を検討すべき。市民体育館は、空調の整備が予定されているが、利用頻度や利用実態、優先順位等を総合的に考慮し、コミュニティ体育館の整備についてもあわせて検討することが望ましい。

事務局）市民体育館の空調の整備については、令和 9 年度に設計、令和 10 年度に整備工事を行う予定である。財源について、国の緊急防災減災事業債の活用を想定しており、令和 12 年度までとなっていることから、コミュニティ体育館への空調に整備についてもあわせて検討していく。

竹内委員）e スポーツのイメージについて確認したい。例えば商業施設内にある AR スポーツのようなものをイメージしているのか、それともイベント形式のものをイメージしているのか。

事務局）例に上がった AR スポーツ以外にも、シューティングゲームや格闘ゲーム等についてネット回線を通じて対戦を行うものも含めて e スポーツとしてとらえている。

（2）「2. 多様なニーズに応じたスポーツ活動の機会の提供【つながる】」

事務局から、資料 P 5 「2. 多様なニーズに応じたスポーツ活動の機会の提供【つながる】」の内容について報告を行った。

池内委員）奨励費の交付金額は。

事務局）予選会等を経て出場した近畿大会以上の大会に出場した場合に交付している。近畿

大会の出場は5,000円、全国大会の出場は20,000円、国際大会の出場は50,000円、オリンピック及びパラリンピックの出場は100,000円を交付している。

また、優勝した場合、近畿大会は5,000円、全国大会は30,000円、国際大会は50,000円、オリンピックは100,000円をそれぞれ上乗せして交付している。

金谷委員) スポーツ教室等の実施にあたり、熱中症警戒アラートが発令されている場合の中止の判断は市にて行うのか。

事務局) 市主催のイベントやスポーツ教室については、市で中止の判断をする。令和7年度は熱中症警戒アラートが発令された場合は中止としていたが、来年度も同様の措置をとる予定である。

鈴木委員) ふれあいニューススポーツ教室の参加人数は。また種目はどのようなものを実施したのか。

事務局) 令和7年度は、4月、5月、6月、9月、11月、12月の計6回開催しており、各回の参加人数は概ね20名〜30名であった。実施種目は、4月がボッチャ、5月がトリコロキューブ、6月がラダーゲッター、9月がスカイクロス、11月がフロッカー、12月が公式ワナゲであった。

金谷委員) 「オクトーバー ラン&ウォーク」の主催者は。

事務局) マラソンについてのポータルサイト「RUNNET」を運営する株式会社アールビーズが主催しているもので本市の参加者は381名であり、参加率は近隣の自治体と同等である。

(3) 「3. スポーツ活動を支援するまちづくり【ひろがる】」

事務局から、資料P6「3. スポーツ活動を支援するまちづくり【ひろがる】」の内容について報告を行った。

門林委員) 和泉市生涯学習人材データベースの登録人数や年齢など、どのような方が登録しているのか。

事務局) スポーツ部門は13名が登録しており、年齢は把握できていない。登録の条件は幅広くしており、現在は合気道やヨガ、ニュースポーツの団体の方が登録している。

門林委員) このボランティアは、公共的なイベント以外も協力を依頼することができるのか。

事務局) 公共的なイベントのみという制約は設けていないので、活用の意向がある場合は生涯学習推進室までご相談をいただきたい。

金谷委員) ボランティアについては、今後さらに登録者数が増えることが望ましいので各町会の掲示板や回覧板を利用して啓発を行うのも一つではないか。

(4) 和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画に基づく進捗状況について
事務局から、P 7 和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画のスポーツ部分、および数値目標と直近の数値について報告を行った。

金谷委員) 「週に1回以上運動・スポーツを行う人(18歳以上)の割合」の項目について、高齢者に対するアプローチはどのように考えているか。

事務局) 令和8年度以降にウォーキングアプリの構築を行い、市内に設定したウォーキングコースを、完歩した方に対して、電子地域ポイントの付与を行うことを検討している。誰もが気軽に運動を始めるきっかけとしたい。

金谷委員) 市として健康寿命を延ばす取り組みに力を入れているということでキャッチコピー等も検討して啓発していただきたい。

竹内委員) ウォーキングアプリは大阪府の「アスマイル」とは別のものか。ウォーキングだけでなく、家庭でも気軽に取り組める運動についても、アプリなどを通じて楽しめる仕組みがあれば、スポーツをより身近に感じることができ、和泉市らしい特色ある取組になるのではないか。

事務局) 「アスマイル」は、現在、保険年金室で活用しているが、別で構築する予定である。将来的には「アスマイル」にあるウォーキングの機能について集約する予定である。今後、アプリの構築にあたり、いただいた意見も参考にさせていただきたい。

淡路谷委員) ウォーキングアプリについてeスポーツと絡めたものにしても良いのではないか。

事務局) 現時点で仕様の詳細が未定であるが、本日いただいた意見は今後の参考とさせていただきたい。

門林委員) 「週に1回以上運動・スポーツを行う人(18歳以上)の割合」の項目について、パーセンテージはどのように算出しているのか?

事務局) 「スポーツに関する意識調査」の回答をもとに算出している。

野口委員）本日議論いただいている施策について、障がい者も参加できるようなものも検討していただきたい。

池内委員）ニュースポーツについて、特に高齢者はどのような内容のスポーツであるかわからず参加しにくいので、説明できる資料のようなものがあればよいのではないか。

事務局）広報では紙面の都合もあるが、なるべく見た人がイメージしやすい、参加意欲を掻き立てることができるような工夫をしていきたい。その他、過去のニュースポーツのイベントの内容を市のY o u T u b eチャンネルで配信を行っているが、実際に競技を見ていただいて競技に参加していただけるような周知の仕方については今後検討していきたい。

門林委員）ニュースポーツの用具を老人クラブで所有しており、老人クラブの会員であれば貸し出しが可能であるが、今後、よりP Rに力を入れていけるように町会連も協力させていただきたい。

2（仮称）和泉市北部総合スポーツ公園基本構想について

事務局から、資料P 8～P 9「（仮称）和泉市北部総合スポーツ公園基本構想（概要版）」の内容について報告を行った。

門林委員）グラウンドの利用には予約が必要か。

事務局）スポーツゾーンの利用にあたっては有料で事前予約が必要となる。

門林委員）料金はどのような基準となるのか。

事務局）未定ではあるが今後、既存施設の料金設定との整合性も踏まえて検討していきたい。

門林委員）広場ゾーンの多目的広場についてはこの場所を利用して何か競技を行うことは可能か。

事務局）そのような想定はしていない。

門林委員）グラウンドゴルフにしても以前は公園を利用していたが現在は利用できない。競技を行う場所がないので多目的グラウンド一面では少し足りないのかなという気がする。

事務局）グラウンドは平日の稼働率に課題があるので、平日の利用はしやすいとは考えている。

鈴木委員) ランニングコースを設定する予定はあるか。

事務局) スポーツゾーンの野球場外周と野球場東側の池の外周部に設定する予定。

竹内委員) 公園予定地の西隣の大阪市立青少年野外活動センターとの連携は検討しているのか。

事務局) 現時点では、青少年野外活動センターを所管する大阪市と具体的な連携の話ができているわけではないが、今後スポーツ公園を運営する事業者がどこになるのかということも含めて、スポーツ公園と青少年野外活動センターの連携の可能性も探ることができればと考えている。

竹内委員) スポーツ施設と宿泊施設ということで連携が可能になれば利用の幅も広がると思う。

門林委員) ゾーニングの中で駐車場が3か所に分かれているが、北側の駐車場へ出入りする車両動線が歩行者動線と干渉しているように思うが安全面で問題ないのか。

事務局) 今後詳細の設計を検討していく中で歩行者動線の安全も確保していきたい。

3 和泉市温水プール事業の廃止について

事務局から、資料P 10～P 25「和泉市温水プール事業の廃止について」の内容について報告を行った。

金谷委員) 市内の小中学校のプールの使用状況は。

事務局) 小中学校のプール授業については順次民間事業者に委託を進めており令和10年度に全校で民間事業者への委託が完了する予定。